

認知症に関して講義する柏葉英美教授



介護や福祉に関心を

八戸学院短大がオープンカレッジ

八戸

多くの八戸市民に介護・福祉分野への関心を持つてもらおうと、八戸学院短期大学部介護福祉学科は8月10日、市美術館2階「八戸学院まちなかラボ」でオープンカレッジを開催している。同科の柏葉英美教授が、認知症やヤングケアラ

では、認知症の主な症状や現状について紹介。90歳以上では約6割の人が罹患する誰もがなり得る病だとして、柏葉教授は「認知症に対する偏見をなくし、サポーターではなくパートナーとして患者を支えていくことが大事」と説いた。岩手県立福岡高3年の大畑柊太さん(17)は「社会福祉士を目指しているので参加した。今後さらに高齢者が増える中で、認知症の早期発見や病に対する偏見をなくしていくことが大事だ」と感じた」と語った。残る公開講座は2回で、ユマニチュード(人間らしさ)について」が10月7日午前10時から、「もっと知ろう ヤングケアラー」が12日午後3時から開催される。各回1時間半で受講無料。

申し込み、問い合わせは 柏葉研究室Ⅱ電話0178(25)2711、ファクス同(25)2729、メールアドレスk-nidemij@c.hachinohe-u.ac.jpへ。(松橋広幸)